

## 九州の現状、課題で意見交換 インフラメンテ国民会議



「インフラメンテナン  
ス国民会議九州フォー  
ラム」(フォーラムリ  
ダー・日野伸一九州大学  
名誉教授/大分工業高等  
専門学校長)のキックオ  
フフォーラムが30日、福  
岡市内で開催された。写  
真。フォーラムでは基  
調講演や特別講演ととも  
に、国や自治体の関係  
者、学識経験者らによる  
パネルディスカッション  
が展開され、インフラメ  
ンテナンスの課題や独自

の対策、問題解決の手掛  
かりとなりそうな取り組  
みなどについて意見が交  
わされた。

インフラメンテナン  
ス国民会議は、産官学民が  
連携するプラットフォーム  
等として平成28年11月  
に設立。その地方組織と  
なる九州フォーラムは、

公共インフラの維持管理  
に関する自治体支援、技  
術開発推進に向けた情報  
交換やベストプラクティ  
スの水平展開及び取り組  
みのマッチング等によ  
り、様々な課題の解決を  
めざし、今年1月に立ち  
上げられたもの。

九州ブロックの初  
フォーラムのタイトルは  
「九州におけるインフラ  
メンテナンスの現状と課  
題」。会場となった福岡  
市博多区のTKP博多駅  
前シティセンターホール  
には、国や九州各自治  
体、建設業、建設コンサ  
ルタントの関係者など約  
300人が足を運んだ。  
今回のフォーラムで

は、国土交通省総合政策  
局の吉田邦伸事業総括調  
整官が「インフラを取り  
巻く状況とインフラメン  
テナンス革命」と題して  
基調講演。また、長崎市  
中央総合事務所の森尾宣  
紀理事が特別講演とし  
て、同市のインフラメン  
テナンスの取り組みを紹  
介した。

パネルディスカッシ  
ョンでは、コーディネー  
ターを(一社)ツタワ  
ルドボクの片山英資代表  
事に、パネリストとして  
福岡県東峰村の澁谷博昭  
村長、玉名市建設管理課  
の木下義昭参事、LOC  
AL&DESIGNの高  
山美佳代表取締役、長崎  
大学の松田浩副学長、九  
州地方整備局の藤巻浩之  
企画部長らが登壇。

このうち澁谷村長はイ  
ンフラメンテナンスの発  
注について、技術職員が  
一人もいないため、設計  
内容を全くチェック出来  
ず、人任せとなっている  
現状に危機感を抱いてい  
るとし、「小さな自治体  
が技術職員を持ってない  
のであれば、今後、どこ  
かに(そついったこと  
対処できる)技術員集団  
を作らざるを得ないので  
はないか」との見解を  
語った。

また、木下参事は、限  
られた予算の中で廉価で  
効果的な橋梁メンテナン  
スを進めるために、玉名  
市では職員自らによる  
「直接施工」を大幅に取  
り入れるなど、独自の対

策を講じていること等を  
紹介。  
藤巻企画部長は、各パ  
ネリストの発表などを踏  
まえ「整備局の役割とし  
て、先進的な自治体の取  
り組みを仲立ちし、水平  
展開していくことも必要  
ではないかと気づかされ  
た」との感想を述べた。